

## 環境会計

クボタは環境会計について、1973年から独自の自主基準を設け、環境管理に要した費用や環境関連設備投資額および直接的な効果を把握し、環境管理活動状況のデータとして活用してきました。なお、環境調和型製品の研究開発に伴う費用および設備投資額は計上していません。また、みなし効果や間接的な効果も算出の定義が不確定なため、計上していません。

クボタ単独の2000年度の環境管理費用は、31.2億円となり、設備投資額は、14.9億円となりました。一方、直接的な環境保全効果は、23.5億円となりました。

### 費用について

主な環境管理費用の内訳は、環境保全業務に直接的に携わる人件費が「2000年度中に全事業所でのISO14001取得」に向けての活動を行い15.4億円となり、資源循環コストである産業廃棄物の処理委託費用が10.2億円となりました。

### 投資について

主な環境関連設備投資の内訳は、事業エリアコストである環境改善投資が10.2億円、地球環境関連が2.8億円となりました。

### 効果について

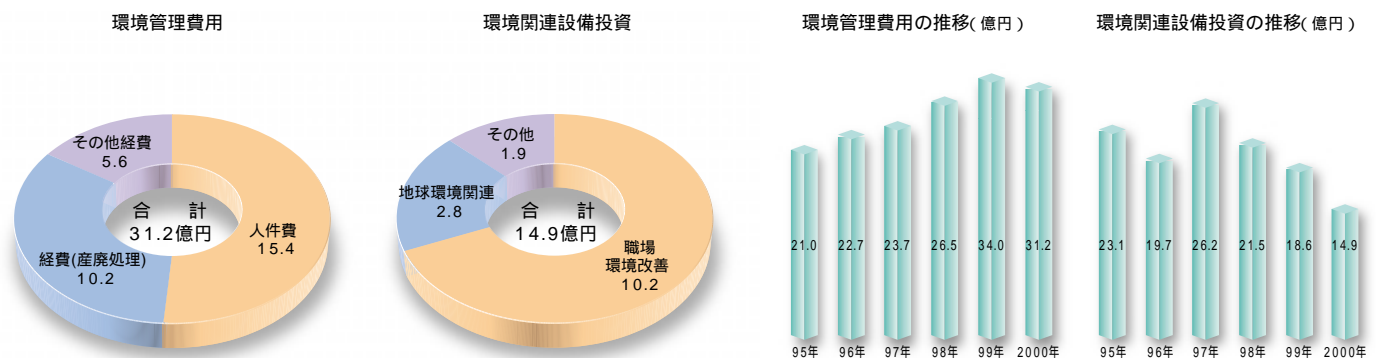
効果の内訳は、省エネルギー対策効果が6.1億円、ゼロ・エミッション化にともなう廃棄物処理コストの削減が3.3億円、廃棄物の処理・リサイクルに係る有価物売却額が2.1億円、ISO認証取得支援効果が0.1億円、物流環境保全対策効果が11.9億円となりました。

### 今後の展開

環境庁「環境会計システムの導入のためのガイドライン」を参考にして基準および集計方法を見直し、計上項目を拡げるとともに、精度の向上と費用や効果を総合的に算出するシステムを構築中です。

投資効果や費用対効果を把握し事業の存続と持続的発展に不可欠な環境経営のツールや指標として、環境会計を位置づけ、今後、環境保全活動の向上と情報開示に努めます。

### 2000年度環境管理費用・設備投資の内訳



### 2000年度直接効果

分類	項目	年間効果(百万円)
省エネルギー対策	キュボラ廃熱利用、電力低減等	612
ゼロ・エミッション化	産業廃棄物減量化・再資源化 有価物の売却額	331 214
ISO 14001認証取得支援	内部環境監査員教育実施(187名)	11
物流環境保全対策	モーダルシフト等	1,185
<b>合計</b>		<b>2,353</b>

## 環境リスクマネジメント

クボタでは、大気汚染や水質汚濁等を未然に防止するため、各事業所では環境への排出について、その地域での条例、協定などよりさらに厳しい自主管理値を設けて排出物質の管理を行い、環境リスク対策を実施しています。

また事業活動における違法性、環境問題の発生防止及び環境リスクの最小化を図るために、環境監査を実施しています。従来の環境監査に加え、該当する法規制の範囲を広げる等のより細かい適法性監査の仕組みを検討中です。

全社的に法遵守の徹底を図るためにコンプライアンス本部  
法遵守への対応

(1)大気管理状況について	(4)地下水汚染管理状況について
ダイオキシンを含め全て規制値をクリアしています。	有機塩素系化合物による地下水汚染問題はありませんでした。
(2)水質管理状況について	(5)官公庁による立入について
全ての項目で規制値をクリアしています。	2000年度は88件の立入りを受けました。水質等立入分析結果は、全て規制基準内であり、特に問題はありませんでした。尚、届出の不備による指摘を1件受けましたが、直ちに対応しました。今後も、さらに日常管理の徹底により指摘ゼロになるよう努めます。
(3)騒音管理状況について	
3事業所において規制値をオーバーしてしています。これらは全て住居等と隣接している敷地境界線上ではなく苦情等はありませんが、さらに騒音低減に努めていきます。	

### 環境リスク

(1)環境に関する苦情や事故について	(4)土壌・地下水問題について
2000年度も環境に関わる罰金や料金は受けておりません。社外に影響を及ぼした事故は発生しませんでした。また、近隣からの苦情が1件ありましたが、速やかに対策を行い、同様の苦情を受けることのないよう、関係事業所へ水平展開を図りました。	重金属や有機塩素系化合物による土壌・地下水汚染の有無を事業所内に設けた観測井戸にて定期的に測定しています。ダイオキシンによる汚染の防止を図るため、焼却炉の廃止を推進しています。
(2)事故訓練について	(5)PCBについて
万が一の環境事故の発生を想定し、その場合でも汚染を最小限に抑えるための、事故対応手順を定め、定期的に異常時、緊急時対応訓練を実施しています。	PCB含有機器の適正保管の徹底と使用中止、PCB廃棄物の無害化处理を推進するため、PCB含有機器の使用・保管状況を継続して把握しています。2001年8月現在高圧機器の保管は576台、使用中は171台で、今後も適正保管に努めます。
(3)製品、材料の環境安全について	
クボタの製品などについてMSDSを作成し、顧客に提供しています。物流時の事故に備え、緊急時の処置方法を物流会社に提供しています。	